

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果（中学校）

越前町

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	朝日	中学校	その他	5月に実施している校内マラソン大会(3km)を今年度は2部制で実施した。1部では従来のタイム測定と着順判定を行った。また2部では市民マラソンのように完走することを目的に実施した。(着順判定無し・タイムはタイマーを見て自分で確認)	持久走が苦手な生徒にとっては、精神的な負担が大きい行事ではあるが、2部制にすることによってその負担を軽減することができた。また、1部2部とも、3学年混合で行うことによって、他学年との競争意識が芽生え、タイムの向上につながった。
2	宮崎	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	体育祭、校内スポーツ大会など、体育委員会を中心とした生徒主体の体育的行事の計画・立案・準備・運営などを通じて、支えるスポーツ活動の充実を図る。	体育祭やスポーツ大会等の学校行事では、生徒が主体となって種目や練習内容、運営方法を考えたことで、学校生活や他教科でもその経験を生かし、主体的に取り組む姿がみられるようになった。
3	越前	中学校	本校の体力向上の取組みについて	体育の授業の最初に、時間走(3~6分)や補強運動(腕立て、壁倒立、スクワット等)を継続的に行う。	自分・体力に関心を持ち、向上させることができたことと答えた生徒96%。継続して時間走や補強運動に取り組んだことが体力向上につながったと考える。
4	織田	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	ICTを効果的に活用し、「わかる」「できる」が実感できるように取り組む	タブレットのカメラ機能を利用し、マット運動では重心の位置や、姿勢などのポイントを多角的に確認した。動画を見比べて生徒同士で意見を言い合うことができた。振り返りを電子化したことで、記入する文章量が全体的に多くなった。